

かわべ

隔月発行
河辺村公民館
編集
館報編集委員会
☎(089339)2311
佐川印刷 KK
吉田町北小路 ☎2-0600

河辺村人口動態

(S. 55. 10月国調)

世帯数	647
人口	2,009
男	1,016
女	993

(S. 50. 10月国調)

世帯数	666
人口	2,368

(S. 44. 10月国調)

世帯数	718
人口	2,810

多彩な催し盛り込んで 第五回村民文化祭にぎわう

第五回村民文化祭が十一月一日、二日の二日間、集落センターを会場に開かれ延べ七五〇人が訪れてにぎわいをみせました。

展示コーナーでは菊花・盆栽・書道・絵画・写真・俳句・短歌・マンガ・詩画・趣味の作品など例年になく数多くの作品が展示され、協賛事業としても、農協コーナーや森林組合コーナーで展示即売が行われ、婦人会バザーも両日大盛況のようでした。

今回のアトラクションとしては、村内小中学生の音楽発表会、グループ発表会、良い映画を見る会、が企画され、一日の午前中開かれた音楽発表会には、村内の小中学生、百七〇名と父兄が見守る中で生徒が次々と舞台上立ち、スポットライトに照らされて日頃の

成果を発表しようとお互いに拍手をあげてすばらしい交流が行われていました。

午後は、今回初めてグループ発表会が行われ、詩吟や踊りなどが披露されると観客から惜しみない拍手が贈られていました。

文化祭は、日頃の練習成果を発表する機会として絶好の場であり、今後このようなグループが生まれて参加して欲しいと願っています。

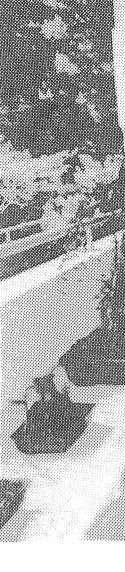
二日の良い映画を見る会では、マンガ二本と劇映画「看護婦のオヤジがんばる」を上映し感動させられました。

今年の特徴としては、グループた菊花、盆栽の結果は次のとおりです。

◎菊花(出品数三二点)
金賞 上久保スミ子
銀賞 向井篤子・藤岡三枝子
銅賞 大野タケ・清水道則
佳作 藤田ミツエ・清水房子
矢野シゲヲ

◎盆栽(出品数四一点)
金賞 梅木安夫
銀賞 作見弘幸
銅賞 児玉恒義・日野重樹
佳作 松本満義・梅木安夫
大野哲夫

◎書道展(出品数六〇点)
◎絵画展(出品数八九点)
◎写真展(出品数六四四点)
◎俳句展(出品数二四四点)
◎短歌展(出品数一〇〇点)
◎マンガ展(出品数二二二点)
◎詩画展(出品数一八八点)
◎趣味の作品(出品数四〇六六)



丹精こめて育てられた菊と盆栽



日ごろの成果を発表し合った小中学生

就任のごあいさつ

助役
山本伸



年頭から激動の黎明と云はれた八十年代へき頭の今年は、予想に違わず、アメリカ大陸の異常な熱夏、西欧の騒ぎよう、又国内における冷夏の被害、相つぐ大火の発生等々、波らんぶくみの歳末を迎えようとしておりますが、ひたすら故郷を守っていたたく村民の皆さん、不屈の御健闘を心から念じております。さてこのたび私こと、去る十月二十日、大きな希望と決意をもって勇退された大森高知氏の後をうけて、翌二十一日付で河辺村助役を拝命いたしました。どうか今後ともよろしく御指導の程お願い申し上げます。

教育行政を預り、非力の身が皆さんの御支援を得て、河辺小学校の統合、各小学校のプール建設、中学校整備並びに教員住宅建設等々その成果はたとえわずかでも形に残る仕事を遂げさせていただいたことを感謝いたしております。今後、農山村住民の生き抜いて行く道は、自らが開拓してゆかなければならない、厳しい時代が続くと思っております。

従来、対外的に和を欠く村との印象を与え勝ちだった諸々の誤解をほぐす努力を続けながら、恵まれた自然の恵みを生かしつつ、人情の豊かさを誇った伝統に還り、村民二千余人が信じ合い、助け合う住み良い村づくりの為、村長補佐の任務に徹し、全力をつくして頑張る所存でございます。

どうか今後ともよろしく御指導の程お願い申し上げます。

就任のごあいさつ

教育長
智葉昌人



このたび、村教育長に推挙をいただき去る十月二十一日就任させていただきました。誠にありがたく光栄に存じております。

承知のように本村の教育は極めて正常に進展いたしております。これひとえに自治機関、歴代教育委員、教育関係者のご努力、さらには村民各位の教育に対する深いご理解と協力のたまものであると心から敬意を表します。ここに責任の重大さを痛感しております。

昨今とく、地方の時代、教育文化の時代と強調され、物質優先の考えから、心の豊かさ、生きがいを求める地域づくり、へと生涯教育のあり方が大きな行政課題となっております。

十一月初めの連休、久しぶりにふらふらと土を踏んだ。壬生川駅から大洲駅まで特急列車で約二時間。列車の窓からの眺めはやはりなつかしい。長浜も十年前と比べると見違える程の変わり方である。

大洲からは兄の車に便乗させてもらって。道路もよく整備され東予に比べて交通量も少くまさに快適なドライブウェイという感じが。肱川もなつかしい。驚いたのは肱川流域の山々の骨林である。マツクイムシによる被害は予想以上である。

鹿野川を過ぎると急に道路も狭くなりカーブも多くなるが、舗装されているので苦痛は感じない。昔前のデコボコ道に比べると雲泥の差である。河辺村に入るのとなく身がひきしまる感じがする。緑に包まれた山や川。一本一本の木、一つ一つの岩が私に何を語りかけてくるようだ。植松のメインストリートに活躍している。

たことがあり、ひときわなつかしい。廃校になったのは淋しいが「郷土資料館」として立派に生かされている。四年間大伍地区の方々には公私共に一方ならぬお世話になった。教員達も今は社会人として立派に活躍している。

遠く離れたところから、ふるさとを離れてから、いつの間にか十七年もの歳月が流れ去ってしまった。現在は周桑郡小松町に居を構え、近くの東予市立壬生川小学校に勤務させてもらっている。

「光陰矢の如し」。私がふるさとを離れてから、いつの間にか十七年もの歳月が流れ去ってしまった。現在は周桑郡小松町に居を構え、近くの東予市立壬生川小学校に勤務させてもらっている。

ふるさとに望む
小松町 山本義仁

このように、帰郷する毎にふるさと河辺村の発展ぶりに目を見はるものが多い。産業、経済、交通、教育、文化等色々な面で、私の子供の頃に比べると誠に隔世の感がする。これも、「住みよい郷土づくり」を目指して、村長さんを中心に村民一体となって尽力された結果であろう。

○子育ての責任は親であり、教師や社会ではないことを親は再確認すべきであろう。

○環境に育つ子供達……現代社会環境に欠陥もあるが全責任者はやっぱり親である。決して社会悪や公害のようなノンキさではつまらん話だ。

○親の心子知らず、子の心親知らず……人間は当然のこと少しは疑ってみる必要がある。

わが子の交友関係や小使い使用状況、社会道徳のわきまえ方などに目を配って、親が子育てを真剣に見直すべきだと思う。

○家庭で特定日を定め、本人には知れないように子供の行動診断とその対応策を要望したい。

○駐在所の某おまわりさんが、河辺にも都会なみの犯罪があると話されたことが耳にのこっている。平和、純朴を誇る河辺にいつ、どこでいまいしい犯罪が起らないとは断言できない。

植松分館が待望の優勝 第16回村民運動会に800名の人出

植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。

植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。

植松分館が待望の優勝
第16回村民運動会に800名の人出

No.	種目	植松	坂本	大伍	北平
1	ポテトレース	1	4	2	3
2	二人三脚玉けり	3	2	4	1
3	狭き門	4	2	3	1
4	年代別リレー(女)	4	3	1	2
5	竹馬競争	1	3	2	4
6	安全運転	3	4	2	1
7	出たとこ勝負	4	2	3	1
8	得点かせぎ	1.5	4	3	1.5
9	年代別リレー(男)	4	2	3	1
10	引越しお手伝い	3	1	2	4
11	綱引き	3	3	3	1
計		31.5	30	28	20.5
順位		1	2	3	4

あわてると引越しお手伝い、もまなならず

植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。

植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。植松分館が待望の優勝、第16回村民運動会に800名の人出。

やねばし

〇〇〇数年、青少年の犯罪が多くなっている。その中でも窃盗、暴力犯が断然多い。ところが親も教師も全く知らなかったと警察署の知らせに驚いているのが実状、また単独犯よりグループでの集団犯罪が特徴だといふ。

○子育ての責任は親であり、教師や社会ではないことを親は再確認すべきであろう。

○環境に育つ子供達……現代社会環境に欠陥もあるが全責任者はやっぱり親である。決して社会悪や公害のようなノンキさではつまらん話だ。

○親の心子知らず、子の心親知らず……人間は当然のこと少しは疑ってみる必要がある。

わが子の交友関係や小使い使用状況、社会道徳のわきまえ方などに目を配って、親が子育てを真剣に見直すべきだと思う。

○家庭で特定日を定め、本人には知れないように子供の行動診断とその対応策を要望したい。

○駐在所の某おまわりさんが、河辺にも都会なみの犯罪があると話されたことが耳にのこっている。平和、純朴を誇る河辺にいつ、どこでいまいしい犯罪が起らないとは断言できない。

○成績優先主義の教育家庭、学校にまかせっきりの家庭、経済優先の働き者の家庭、子どものことは自由放任主義の家庭など、ときに自分自身の教育観の反省も必要かと思う。

○次代を担う大切な青少年である。今ひそかに悩む子育て中の親のために今こそ、地域社会ぐるみで協力すべきであり、協力面が多いこともつけておきたい。

(N)

喜多郡PTA研究会大会開かれる

河辺中学校会場に二六〇名が
十一月二十一日、河辺中学校を
会場に、喜多郡PTA研究会大会が
開催された。

子供達の健全育成のために、PTA
研究会が取り組まねばならない
諸問題について、郡内全小中学校
単位PTA会員二六〇名が参加し、
熱心な研究討議が行われた。

午前中は開会行事のあと、北平
小学校PTAの「しつけ暦の活用
」によって、より健全な個を育てる
学習活動と家庭教育についての実
践報告、研究発表をはじめ、次の
五つの分科会に別れ、それぞれの
テーマによって問題提起、研究討
議が行われた。

第一分科会は「自ら考え、正し
く判断し、進んで行動できる子供
を育てる家庭教育はいかにあるべ
きか」

第二分科会は「子供の自主性を
伸ばし、たくましく子供を育てる
ためにはどうすればよいか」

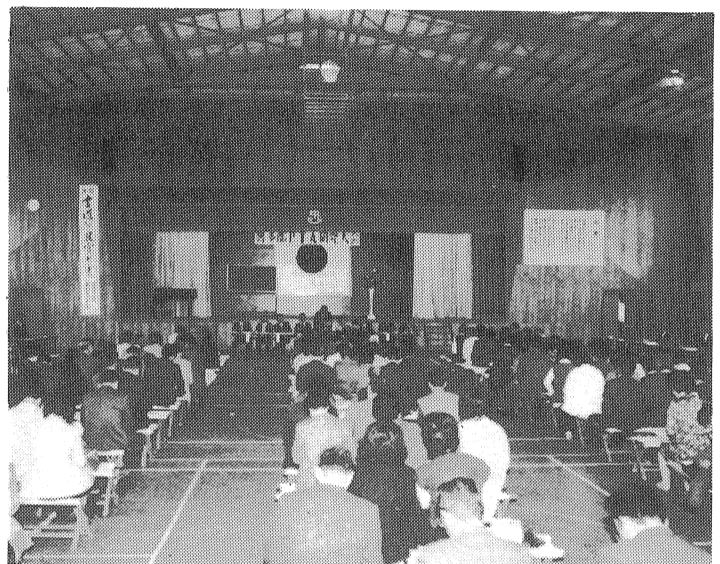
第三分科会は「子供の豊かな人
間性を培うために、親として何を
どう学習すればよいか」

第四分科会は「子供の豊かな人
間性を培うために、会員の意識を高
めるPTA活動はどのようにあるべきか」

第五分科会は「地域住民の倫理
観の確立と、健全な家庭づくり
に努めるにはどうすればよいか」

午後は河辺村PTA連会長本山清明
氏の司会で全体会が開かれ、各分
科会の模様が報告された。

その後、「書道と良寛さま」と
題して、宗真寺住職、本竜賢宗老
師の講演があり、「書は大自然の理
を現わす」という草書連筆二理七
則、並びに草書八規八法の心髓に
ついてのお話しは、聴きながら聞
く人自ら身をのりだし、ここに
お師匠様の掛軸を前にされては、
往時を想起されたのであろうか
し、絶句、その声援は老師のお人
柄を偲ばせ、ことのほか印象深い
ものであった。



熱心に研究討議された全体会

河辺の植物シリーズ(1)

「モミジ」と「カエデ」



ふぞろいの重鋸歯



若い葉柄と花の柄は毛あり

秋といえば紅葉であろう。モ
ミジは、紅や黄に「様々出ツ」
ことにより、またカエデは、葉
を「蛙手」に見たてたことよ
りと言ふ。

従って、両者の分類学的な区
別はなく、すべてカエデ科、カ
エデ属に所属する。

河辺に自生が多く、盆栽や庭
木として親しまれているのはイ
ロハモミジで、イロハカエデ、
タカオカエデなども言う。

カエデ属は国内に二十三種、
村内には十数種の自生がある。
河辺は小田深山と並んで、カ
エデ属の県下有数の自生地だ
村木としてモミジが指定され
たことは当然のことである。モミ
ジを県木としているのは、広島
県である。

お年寄りの笑い声 こだまして

—初の老人クラブミニ運動会—

老人クラブの第
一回運動会が十一
月五日、大伍分館
で開かれて有友会
員が参加した。
長以下七〇名の会
員が参加した。
十時に開会式が
行われ有友会長の
あいさつの後、村
長、村議、教育長の来賓あいさつ
に続いて中山選手の選手宣誓で開
始された。始めてもなく小雨が
降りはじめ続行が心配されま
したが、なんとか予定の種目を和
気あいあいのうちに終了し、午後
の懇親会では婦人会の「たき出し
」班で作られた、おにぎりや芋たき
をほおばりながら「来年は氣候の
よくなるように」と大満足されたようす
であった。



パットパットゴルフを楽しむお年寄り

～国鉄バスからのお知らせ～

日頃、国鉄バスをご利用
いただきましてありがとうございます。
このたびお客様
へのサービス向上の一環
として、合図をすれば停留
所以外でも自由に乗り降り
することが出来るフリーバ
スを次のとおり運転いたし
ますのでご利用ください。
フリー乗降区間
出合山 王
実施月日
昭和五五年二月一日から
乗降される区間の外側
の運賃区間停留所の
運賃をいただきます。
道路左側の広い安全な
場所を早目に手を上げ
乗る時

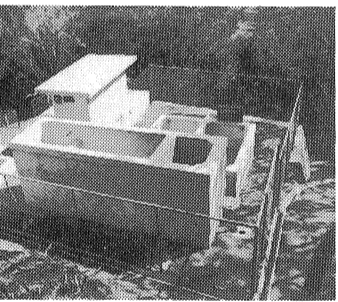
日頃、国鉄バスをご利用
いただきましてありがとうございます。
このたびお客様
へのサービス向上の一環
として、合図をすれば停留
所以外でも自由に乗り降り
することが出来るフリーバ
スを次のとおり運転いたし
ますのでご利用ください。
フリー乗降区間
出合山 王
実施月日
昭和五五年二月一日から
乗降される区間の外側
の運賃区間停留所の
運賃をいただきます。
道路左側の広い安全な
場所を早目に手を上げ
乗る時

飲料水供給施設が 着々と完成

国民年金の還元融資
を受けて飲料水供給施
設事業が着々と進めら
れています。

五四年度総事業費
三、四八七〇千円
○中大成地区
(給水人口八一人)
工事費
二、三七〇千円
○坂本地区
(給水人口六三人)
工事費
一、二六〇千円
五五年度総事業費
四、五〇〇千円
○竹の瀬地区
(給水人口八一人)

中大成飲料水供給施設



アタさんありがとう



県下で最大の河川「肱川」は今
日、次第に汚染の度合が悪化した
ために、魚類等の生息も危険な状
況におかれています。

肱川流域にいられる皆さん我が
身になり、我が子と思う気持ちで肱
川を愛し、次のことに心がけてい
たがきますよう協力をお願いします。

(1) 浄化槽の正しい管理
(2) 畜産排水の再利用
(3) 河川の富栄養化防止
※家庭から生ずるゴミを、河川に



肱川流域をきれいにしよう

捨てない、流さない、ことが大
切で、住民全員が心がけましょ
う。

同和教育シリーズ(4)

部落は自然に生れたものではない!!
人によって作り出されたものです。

部落の起源について、今なお
成り上つてくる者が出てこない
次のような偏見によって根強く
残っています。

「人種が違うのではないか」
「職業が違うからではないか」
「宗教が違うからではないか」
このような誤った考え方は、
学問的にも何の根拠もないもの
として解明されています。

戦国時代は下剋上(実力のある
者は誰しも高い身分になれた
代りに、貴族や武士でも戦いに
敗れると下層民になり没落して
しまふ)といわれた時代で、そ
れまでの階級や身分はほとんど
くずれ、氏素姓もわからない者
が領主となり、知恵と才覚と力
量があれば誰でも大名になれる
乱世でした。この時代を背景に
して、貧農の子の秀吉や小土豪
の出の家康が天下をとることが
できましたが、いったん自分が
天下をとると自分と同じように
分として商人の上におくなど、

江戸幕府は政権の安定と維持
をはかり、民衆の大部分を占め
ていた農民が団結して反抗する
ことを防ぐために、政策的に民
衆を「農工商」の順で身分区分
し、百姓は重い年貢をとられ生
活まで規制されてみじめな生活
でしたが、町人よりも上の身分と
された町人の中でも職人を工の身
分として商人の上におくなど、

このように、武士が権力を保
持するために身分・職業・居住
地の三位一体の差別を加えるな
どして政策的に部落を作りあげ
たのです。

政策的に作られたものであれ
ば当然のくりかえして行かねばな
らず、部落差別はなくなるなら
ないではないかという偏見をなく
することが大切です。

(河辺村同和教育協議会)

文芸

愛媛県教育会俳句大会入選作品 河辺中学校

〈優秀〉
ぼんおどり下手が入ってもありあがる 一年 山本 和明
落とし水静かな村に響きわたる 一年 梶川 好子
すすきのほすの声に少しゆるれる 二年 有友 民子
田の草取り母が小さくなるばかり 一年 田中喜代美
故郷の活気がもどる秋祭り 三年 福田 伸五
大根の可愛い芽が出て小雨降り 三年 石井 美香
障子洗う母の背にも赤とんぼ 三年 奥平真優美
新わらの香りの中でお茶をのむ 三年 本山みや子
栗ご飯たきあがりたる匂いかな 三年 加茂美津穂

〈佳作〉
ひぐらしが早く帰れとせきたてる 一年 石浦 睦仁
赤とんぼかきねの先でまじりあがる 一年 五頭三津恵
ぼんとんぼ家のまわりをまわつてる 一年 松本志保美
草の裏のそなたはじめた道の端 三年 新田 由美
祖母のうづまわらははじくきの下 三年 森川 武昌
涼風やすいか食べれば風鈴が 三年 五頭美佐枝

消息

(出生) おめでとうございます
自 5555
至 118・1011

稲谷 父勇 酒井久美子
植松 正明 富永和孝
川上 光男 水本梨恵
長崎 清寿 兼本博之
国木 正行 増本喜行
植松 昭俊 酒井 龍
川崎 重之 平井智之
竹の瀬 守 中野千歳

(結婚) 末ながくお幸せに
(渡辺正茂(中居)
永田秀美(野村町))

(死亡) お悔み申しあげます
植松 大野茂男(八七才)
中居 二宮ハマ(七六才)
宮谷 竹林信衛(七〇才)
横山 高田多賀男(四七才)
寺籤 岡崎清光(八八才)